

株式会社レゾナック・ホールディングス 2024年1Q 決算説明会 Q&A要旨

日時 : 2024年5月15日(水) 17:30~18:30

説明者 : 取締役 常務執行役員 CFO 染宮 秀樹

*内容は、開催日時点の情報に基づいております。

【全社】

Q 先日転換社債型新株予約権付社債を発行したが、今後1-2年程度で希薄化を伴う資金調達を行う可能性は。

A 現在想定している事業環境の範囲では考えていない。

【半導体・電子材料セグメント】

Q 23年4Qから24年1Qにかけて、半導体後工程材料は若干の減収になっているが、その背景は。

A 4Qからの減収は中国の春節などの季節性によるものであり、回復基調は続いている。

Q 24年2Qの売上高は1Qから50億円増収となる見通しだが、その内訳をサブセグメント単位で教えてほしい。

A 増収幅の大きい順に、半導体後工程材料、デバイスソリューション、半導体前工程材料。

Q 24年2Qの営業利益は、1Qから4億円の増益に留まる予想。増収幅と比べて小さいように感じるが、背景は。

A 固定費の増加が主要因。具体的には、半導体市況の回復を見据えた減価償却費や修繕費といった経費の増加に加え、一部の経費が2Qに期ずれとなったことも影響している。

Q 23年度通期決算のCEOプレゼン(P14)で挙げた製品について、直近の状況を教えてほしい。

A 生成AI向けにノンコンダクティブフィルムやTIMの需要が好調な他、従来よりハイエンドのMPU向けに強みを持つ銅張積層板と感光性ソルダーレジストも拡販が進んでいる。

Q HDメディアの足元の動向を説明してほしい。

A HDメディアの販売数量は23年4Qから回復に転じており、1Qは4Qから横ばいだった。一方1Qの営業利益は、固定費負担の重い在庫を払い出したことで増収効果が限定的となり、赤字が継続した。2Qは1Qから緩やかな数量増を見込んでいる。

【モビリティセグメント】

Q 24年2Qは営業赤字転落の予想だが、その背景を教えてください。

A タイや中国向けの販売不振を想定していることが主要因。また、2Qは1Qからの経費の期ずれ等もあり、固定費が増える見通しであることも一因。

【ケミカルセグメント】

Q 24年2Qの営業赤字予想の背景を教えてください。

A 石油化学・化学品は黒字を見込む一方で、黒鉛電極は競争環境が引き続き厳しく、赤字を見込む。

以上

*本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。